

社会（地図）

社会(地図)

東京書籍
帝国書院

教科・種目名 社会 (地図)

採 択 基 準	基 本 観 点	発 行 者 名	
		2 東 書	46 帝 国
1 学習指導要領に示す目標の達成のために工夫されていること。	(1) 全体としての特徴や創意工夫	<p>学習指導要領の目標及び内容、内容の取扱いに示す事項を適切に取り上げて、日本や世界の地理的認識を養う内容を、地図とともに豊富な資料を用いて取り上げている。</p> <p>日本の領域（北方領土等）について、「日本とそのまわり」で、与那国島、沖ノ鳥島、択捉島、南鳥島を、写真と解説文で取り上げている。</p> <p>国土の位置、地形や気候などの自然の概要をとらえるため、「ながめてみよう日本のすがた」「日本とそのまわり」「日本の自然—地形—」「日本の自然—気候—」などを掲載している。また、資源や産業の現状と土地利用等との関わりをとらえるため、「日本の食料生産」「日本の工業生産」「日本の貿易」などを掲載している。</p> <p>一つ一つの地図や資料を大きくして掲載したり、写真を多く掲載したりしている。</p>	<p>学習指導要領の目標及び内容、内容の取扱いに示す事項を適切に取り上げて、日本や世界の地理的認識を養う内容を、地図とともに豊富な資料を用いて取り上げている。</p> <p>日本の領域（北方領土等）について、「日本とそのまわり」で、与那国島、沖ノ鳥島、択捉島、南鳥島を、写真と解説文で取り上げている。</p> <p>国土の位置、地形や気候などの自然の概要をとらえるため、「宇宙からながめた日本列島」「日本とそのまわり」「日本の自然のようす 地形 気候」などを掲載している。また、資源や産業の現状と土地利用等との関わりをとらえるため、「日本の産業のようす 農水産業 工業」「日本と世界の結びつき」などを掲載している。</p> <p>一つ一つの地図や資料をコンパクトにして、一ページに多く掲載している。</p>
2 内容や構成が学習指導を進める上で適切であること。	(1) 基礎的・基本的な内容の確実な定着を図るための配慮	<p>別表 1</p> <p>「地図帳の使い方」で地図帳全体の特長と使い方をわかりやすく説明している。</p> <p>色で土地利用と土地の高さがわかるように工夫している。また、縮尺について物差しのイラストで実際の距離がわかるように工夫している。（それぞれのページに土地の高さを示す色の立体的な一覧、縮尺と物差しのイラストを掲載している。）</p> <p>別表 2</p>	<p>「地図帳の使い方」で地図帳全体の特長と使い方をわかりやすく説明している。また、「地図のなりたちとやくそくごと」で地図の基礎的な知識について説明している。</p> <p>色で土地利用と土地の高さがわかるように工夫している。また、縮尺について目盛で実際の距離がわかるように工夫している。（それぞれのページに土地利用と土地の高さを示す色の一覧、縮尺と目盛を掲載している。）</p>

採 択 基 準	基 本 観 点	発 行 者 名		
		2 東 書	46 帝 国	
2 内容や構成が学習指導を進める上で適切であること。	(1) 基礎的・基本的な内容の確実な定着を図るための配慮	<p>「日本の歴史と文化－世界文化遺産－」で、日本にある世界文化遺産の写真と解説文を掲載している。また、「日本の自然－地形－」で日本にある世界自然遺産の写真と解説文を掲載している。</p> <p>巻末に、自然、産業、歴史、貿易などに関する日本や世界の地図や統計を取り上げている。</p> <p>それぞれのページの地域が、日本全体あるいは世界全体のどの位置なのかがわかる図が掲載されている。</p>	<p>「日本の歴史」で、日本にある世界文化遺産が日本地図上に掲載している。</p> <p>巻末に、自然、産業、歴史、貿易などに関する日本や世界の地図や統計を取り上げている。</p> <p>それぞれのページの地域が、日本全体あるいは世界全体のどの位置なのかがわかる図が掲載されている。</p>	
	別表 2	(2) 思考力・判断力・表現力等の育成を図るための配慮	<p>各ページにある人物キャラクターの吹き出しの中に、説明したり、考えたりするような言語活動の充実に関する課題が入っている。</p> <p>地図と同じページに、重要なポイントを示す写真を掲載している。</p> <p>「世界地図と地球儀」で、実際に地球儀を使って、方位や距離、大きさ、形を調べる活動を掲載している。</p> <p>日本地図や世界地図に、同縮尺の都道府県や日本を記すことで、大きさや形を比較できるようにしている。</p>	<p>各ページにある人物キャラクターの吹き出しの中や「チャレンジ」「世界の国をクローズアップ」「トライ」の中に、説明したり、考えたりするような言語活動の充実に関する課題が入っている。</p> <p>地図と同じページに、重要なポイントを示す鳥瞰図、イラスト、写真を掲載している。</p> <p>「地球儀を使ってみよう」で、実際に地球儀を使って、方位や距離を調べる活動を掲載している。</p> <p>日本地図や世界地図に、同縮尺の都道府県や日本を記すことで、大きさや形を比較できるようにしている。</p>
	別表 3	(3) 児童が自主的に学習に取り組むことができる配慮	<p>「地図帳の使い方」の中に、自主的に索引の使い方や縮尺を利用して実際の距離を調べる方法などを記載している。</p> <p>人物キャラクターの吹き出しの中に、地図を見る時の視点や課題を示している。ほぼすべてのページで視点や課題が示されており、児童が自主的に学習に取り組めるように工夫している。</p>	<p>「地図帳の使い方」の中に、自主的に索引の使い方や縮尺を利用して実際の距離を調べる方法などを記載している。</p> <p>人物キャラクターの吹き出しの中や「チャレンジ」「世界の国をクローズアップ」「トライ」の中に、地図を見る時の視点や課題を示している。ほぼすべてのページで視点や課題が示されており、児童が自主的に学習に取り組めるように工夫している。</p>
	別表 4			

教科・種目名 社会（地図）

採 択 基 準	基 本 観 点	発 行 者 名	
		2 東 書	46 帝 国
2 内容や構成が学習指導を進める上で適切であること。	(4) 学習指導要領に示していない内容の取扱い	<p>主に防災、歴史、自然に関して発展的な内容や今日的な課題を取り扱っている。</p> <p>防災については、「日本の自然災害」で、火山の噴火、地震、洪水、土砂災害、雪の被害、津波など日本の自然災害と災害に備える国や地域の取り組みを記載している。</p> <p>歴史については、「日本の歴史と文化－世界文化遺産－」で、日本にある世界文化遺産や全国の祭り、昔の国名を記載している。</p> <p>自然については、「日本と世界の自然」で、日本と世界の山、川、湖、島を記載している。</p>	<p>主に領土、防災、歴史、自然に関して発展的な内容や今日的な課題を取り扱っている。</p> <p>領土については、「日本列島」で、尖閣諸島、竹島、国後島を、写真と解説文で取り上げている。</p> <p>防災については、「地震・火山の災害と防災」で、日本の地震と火山の分布、世界の地震の分布など地震・火山の災害、災害を防ぐ工夫、防災マップづくりを記載している。また、「台地の洪水へのそなえ」などで、災害へのそなえを記載している。</p> <p>歴史については、「日本の歴史」「日本のすがた」で、日本にある世界文化遺産やふるさと自慢、昔の国名を記載している。</p> <p>自然については、「自然の統計」で、日本と世界の山、川、湖を記載している。</p>
	別表5 (5) 他の教科等との関連	<p>理科との関連で、「日本の自然災害」に、火山の噴火、地震、洪水、土砂災害、雪の被害、津波などを掲載している。また、「日本の自然－気候－」に、気象衛星からの写真などを掲載している。</p> <p>総合的な学習の時間との関連で、「日本の自然－気候－」「日本と世界の自然」「日本の自然災害」で、環境に関わる内容を記載している。また、世界地図のページ、「首都東京」「日本の貿易」「世界のおもな国の統計」「世界の国々」に、国際理解に関わる内容を記載している。</p>	<p>理科との関連で、「地震・火山の災害と防災」に、日本の地震と火山の分布、世界の地震の分布などを掲載している。また、「日本の自然のようす」に、季節風の模式図などを掲載している。</p> <p>総合的な学習の時間との関連で、「日本の自然のようす」「自然の統計」「地震・火山の災害」「環境のまち北九州市」「東京湾の埋立と残された自然」「釧路湿原のなりたち」で、環境に関わる内容を記載している。また、世界地図のページ、「東京都の中心部」「日本と世界の結びつき」「世界の国別統計」「世界の国々」に、国際理解に関わる内容を記載している。</p>

教科・種目名 社会（地図）の調査研究事項

別表 1

調査項目	2 東書
日本の領域の取り扱い（北方領土等）	◇日本とそのまわり (P13)
日本の地方・地域全体を表す地図の数	◇全体 5 箇所 ◇地方別10箇所 ◇日本と周りの国 1 箇所
日本の地方・地域の一部を表す地図の数	◇22箇所
日本の地方・地域の一部を表す資料図の数	◇全体12箇所 ◇地方別 5 箇所 ◇日本と周りの国 6 箇所
日本の地方・地域の一部を表す写真の数	◇全体37箇所 ◇地方別10箇所 ◇日本と周りの国 4 箇所
世界の諸地域を表す地図の数(全体、大陸と海洋、アジア、アフリカ、ヨーロッパ、ロシア、南北アメリカ、オセアニア)	◇11箇所
世界の諸地域を表す資料図の数	◇12箇所
世界の諸地域を表す写真の数	◇11箇所
国土の位置、地形や気候等の自然の概要をとらえるための地図や写真、グラフの効果的な提示	◇国土の位置に関しては、「日本とそのまわり」としてP13に日本の東端、西端、南端、北端、日本の排他的経済水域などを記載している。また、「世界の国々」としてP92～94に日本を中心にした世界地図を記載している。 ◇地形に関しては、「ながめてみよう日本のすがた」としてP 1～3に段彩図を記載している。また、「日本の自然－地形－」としてP 4～6に段彩図や世界自然遺産、地形の様子（もしき図）を記載している。 ◇気候に関しては、「日本の自然－気候－」としてP63～64に「雲の様子と降水量」「日本各地の気温と降水量」を記載している。また、「日本の自然災害」としてP89に「大きな被害をもたらした台風の進路」を記載している。
資源や食料生産、工業生産、運輸等の産業の現状と土地利用、都市分布、交通網等との関わりの効果的な提示	◇「日本の食料生産」としてP65～66に水産物、農産物、食料自給率、食生活の変化の図やグラフを記載している。 ◇「日本の工業生産」としてP67～68に電源、発電所の分布、工業の分布、工業の内訳の変化の図やグラフを記載している。 ◇「日本の貿易」としてP69～70に貿易額、貿易相手国、輸出品と輸入品を記載している。

46 帝国
◇日本とそのまわり (P11～12) ◇日本列島 (P13～18)
◇全体 2 箇所 ◇地方別 8 箇所 ◇日本と周りの国 1 箇所
◇21箇所
◇全体12箇所 ◇地方別22箇所 ◇日本と周りの国 1 箇所
◇全体20箇所 ◇地方別 8 箇所 ◇日本と周りの国 5 箇所
◇ 9 箇所
◇11箇所
◇14箇所
◇国土の位置に関しては、「宇宙からながめた日本列島」としてP4に衛星写真(図)を掲載している。また、「日本とそのまわり」としてP11～12に日本の東端、西端、南端、北端、日本の排他的経済水域などを記載している。また、「世界の国々」としてP84～86に日本を中心にした世界地図を記載している。 ◇地形に関しては、「日本の自然のようす 地形」としてP65に「地形のようす」、「さまざまな地形—模式図—」を記載している。 ◇気候に関しては、「日本の自然のようす 気候」としてP66に「8月の気温のようす」、「2月の気温のようす」、「雪の多いところ」、「A—B間の断面と冬の季節風—模式図—」、「気温と降水量」、「おもな台風の進路」を記載している。
◇「日本の産業のようす 農水産業」としてP67に「土地利用とおもな農産物の産地」、「各地の水産業」を記載している。 ◇「日本の産業のようす 工業」としてP68に「自動車の組み立て工場の分布」、「工業の分布」、「発電所の分布」を記載している。 ◇「日本と世界の結びつき」として、P71に貿易額、貿易相手国、輸出品と輸入品を記載している。

教科・種目名 社会（地図）の調査研究事項

別表 2

調査項目	2 東書
地図記号、方位、縮尺、等高線などの基礎的・基本的な地図の使い方の記述	<p>◇「地図帳の使い方①②」（P9～12）に、地図記号、さくいん、方位、縮尺、地形表現、都道府県の様子を読み取り方、地域の詳しい見方などを記載している。</p> <p>◇各ページに、物差しのイラストがついた縮尺が掲載され、「地図上の1cmは実際には10kmのきよりを表しています。」と記載している。</p> <p>◇各ページに、「陸の高さ・海の深さ」がわかるように土地の高さを示す色の立体的な一覧を記載している。</p>
世界の国々、日本の都道府県、市町村を調べるための配慮	<p>◇もくじ（P8）で、日本・広域図、日本・地方図、日本・拡大図、世界地図、資料・統計がそれぞれのマークで分類されている。また、同ページに都道府県の区分を記載している。</p> <p>◇さくいん（P79～88）で、チェック欄、地名の種類をあらわす記号、地名の種類をあらわす色、都道府県名、ページ、列（経線）の記号、行（緯線）の記号を記載している。</p> <p>◇さくいんの都道府県名、都道府県庁名が赤字になっている。地名別のさくいんになっている。日本の部と世界の部に分かれている。</p>
歴史遺産、文化遺産、自然遺産を調べるための配慮	<p>◇「日本の歴史と文化—世界文化遺産—」（P71～72）に写真、絵、むかしの国などを記載している。</p> <p>◇世界文化遺産とおもな歴史の舞台・建物の記号がある。さくいんにも名所史跡・世界文化遺産・世界自然遺産をあらわす記号を記載している。</p>
3、4年生の地域学習（京都府、各市町村の学習）に活用できる地図、資料、写真等の数	<p>◇地図 4箇所</p> <p>◇資料 0箇所</p> <p>◇写真 3箇所</p>
6年生の歴史学習に対して活用できる地図、資料、写真等の数	<p>◇地図 4箇所</p> <p>◇資料 0箇所</p> <p>◇写真 16箇所</p>
日本の統計表（項目、ページ数）	<p>◇日本の都道府県の統計（P75～76）</p> <p>都道府県名、都道府県庁の所在地とその人口、面積、人口、人口密度、農業生産額（米、野菜、果実、畜産）、漁業生産額、工業生産額、年間商品販売額、一人当たりごみ排出量、一人当たり公園面積、国宝・重要文化財の数、主な伝統工芸品 2ページ</p>
世界の統計表（項目、ページ数）	<p>◇世界のおもな国の統計（P77～78）</p> <p>州、国名、首都、面積、人口、人口密度、主な言語、日本への輸出額・おもな輸出品、日本からの輸入額 2ページ</p>

46 帝国

◇「地図のなりたちとやくそくごと」(P5~6)、「地図帳の使い方①②」(P7~10)に、地図のなりたち、さくいん、方位、縮尺、地形表現、都道府県の様子を読み取り方などを記載している。
 ◇各ページに、縮尺が掲載され、「地図上の1cmは実際には10kmです。」と記載している。
 ◇各ページに、「陸の高さ・海の深さ」がわかるように土地の高さを示す色の一覧を記載している。

◇もくじ(P1)で、日本のページ・世界のページ・資料のページ・さくいんのページが色分けをして記されている。また、同ページに都道府県の区分を記載している。
 ◇おもな地名のさくいん(P76~81)で、地名の種類をあらわす記号、地名の種類をあらわす色、都道府県名、ページ、列(経線)の記号、行(緯線)の記号を記載している。
 ◇さくいんの都道府県名、都道府県庁名が赤字になっている。地名別のさくいんになっている。日本の部と世界の部に分かれている。

◇「歴史の舞台になった場所」(P70)に日本地図や写真などを記載している。
 ◇世界文化遺産とおもな歴史地名・事項の記号がある。さくいんにも歴史地名・世界文化遺産・世界自然遺産をあらわす記号を記載している。

◇地図 5箇所
 ◇資料 4箇所
 ◇写真 1箇所

◇地図 7箇所
 ◇資料 4箇所
 ◇写真 8箇所

◇日本のすがた 都道府県別の統計(P73~74)
 都道府県名、都道府県庁の所在地とその人口、面積、人口、人口密度、農業生産、米、野菜、果実、畜産、木材(素材)、魚かい類、工業生産、鉄鋼、機械、化学、食料品、100世帯あたり乗用車台数、1日1人あたりごみ排出量、下水道の普及率、森林面積の割合、ふるさと自慢、おもな伝統的工芸品と生産都市 2ページ
 ◇おもな農産物の生産(P73) 1ページ
 ◇おもな工業製品の生産(P74) 1ページ

◇世界の国別統計 世界のおもな国々と日本の結びつき(P75)
 さくいん、首都とその人口、面積、人口、人口密度、日本からの輸入、日本への輸出 1ページ

教科・種目名 社会（地図）の調査研究事項

別表3

調査項目	2 東書
言語活動を充実させる工夫（思考力、判断力、表現力を育む配慮）	◇「地図帳の使い方」のページや、各ページにあるキャラクターの吹き出しの中に、説明したり、考えたりするような言語活動に関する課題を記載している。
体験的な活動やそれに基づく表現活動の一層の充実を図るための工夫	◇「世界地図と地球儀」で、実際に地球儀を使って方位や距離、大きさ、形を調べる活動を記載している。
多面的、多角的な見方や考え方を養うための配慮	◇それぞれのページの地域が、日本全体のどの位置なのかがわかるように、各地図に「この地図の位置」という地図資料が添付され、より大きな縮尺での当該地図の位置関係を記載している。 ◇「日本の自然災害」で災害の事例やその写真、地震の震源地とそのマグニチュード、活火山、台風・雪などの被害の大きかった場所、台風の進路、災害に備える国や地域の取り組みを記載している。（P89～91） ◇「世界の州とおもな海洋の広さ」で、南北が逆転した世界地図で海洋の広さを表している。（P78） ◇「日本の歴史と文化」で、むかしの国の名前やむかしの国の名前がついている食べ物を記載している。（P71～72） ◇沖縄島の地図に同じ縮尺の大阪と東京の中心部（P12）、世界のページには同じ緯度においた同じ縮尺の日本や同じ縮尺で地球の正反対側に移した日本、赤道をはさんで反対側に移した日本（P57、59、60、61）を記載し、大きさや形が比較しやすいようにしている。 ◇「世界地図と地球儀」（P51～52）で、地球儀を使って方位や距離、大きさ、形を調べる方法を記載している。
社会的事象の特色をとらえる読図に関する技能を高めるための工夫	◇それぞれのページに土地の高さを示す色の一覧（立体図）を記載している。

46 帝国

◇「地図帳の使い方」のページや、各ページにあるキャラクターの吹き出しの中に、説明したり、考えたりするような言語活動に関する課題を記載している。

◇「地球儀を使ってみよう」で、実際に地球儀を使って方位や距離を調べる活動を記載している。

◇それぞれのページの地域が、日本全体のどの位置なのかがわかるように、各地図に「位置」という地図資料が添付され、より大きな縮尺での当該地図の位置関係を記載している。

◇「国の範囲はどこまでだろうか？」で、領土・領海・接続水域・排他的経済水域・公海・領空などをイラストで表している。(P11)

◇「空から首都・東京をながめてみようー鳥瞰図ー」首都の防災について考えられるように工夫している。(P41～43)

◇世界のページには、その地域の国々の国旗と暮らしの様子を表した写真を掲載している。また「世界の国をクローズアップ」で、学習課題を提示している。

◇択捉島の横に同じ縮尺の沖縄島(P48)、北海道南部の地図に同じ縮尺の東京都(P49)、世界のページには同じ緯度においた同じ縮尺の日本や同じ縮尺で地球の正反対側に移した日本(P57、60～62、64)を記載し、大きさや形が比較しやすいようにしている。

◇「地球儀を使ってみよう」(P52)で、地球儀を使って方位や距離を調べる方法を記載している。

◇それぞれのページに土地利用と土地の高さを示す色の一覧を記載している。

教科・種目名 社会（地図）の調査研究事項

別表 4

調査項目	2 東書
<p>自主学习についての記載事項（見通しをもった学習の進め方、まとめ方、家庭学習）</p>	<p>◇「地図帳の使い方」の中に、自主的に索引の使い方や縮尺を利用して実際の距離を調べる方法などを記載している。 ◇各ページにあるキャラクターの吹き出しの中に、自主的に調べたり、考えたりすることを促す課題が入っている。</p>
<p>一般図の読み取り方、関連図や資料の見方・収集・活用・整理など調べ学習の方法</p>	<p>◇地図帳の使い方①（広く見る地図）（P9～10）「この地図帳の地図記号（凡例）」「どこにあるの？（さくいん）」「どちらにある？（方位）」「きよりはどれくらい？（縮尺）」「高さや深さはどれくらい？（地形表現）」 ◇地図帳の使い方②（地方別に見る地図、くわしく見る地図）（P11～12）「県の様子を読み取ろう」「地域をくわしく見てみよう」</p>
<p>作業的・体験的な学習活動例、書き込みページ等</p>	<p>◇「日本の都道府県」（P7～8）「海に面していない都道府県、都道府県名に山、川、島がついているところ、一番多くの県と接している都道府県、動物の名前が入っている都道府県、都道府県の形は何ににているか、みんなの住んでいる都道府県はどこ？」 ◇「地図帳の使い方①」（P9～10）「どこにあるの？（さくいん）」「どちらにある？（方位）」「きよりはどれくらい？（縮尺）」「高さや深さはどれくらい？（地形表現）」 ◇地図帳の使い方②（P11～12）「県の様子を読み取ろう」「地域をくわしく見てみよう」 ◇「日本列島－南西諸島から九州－」（P14）「鹿児島市から那覇市までと那覇市から台湾までのきよりははかってみよう。」 ◇「日本列島－九州から北海道－」（P18）「北海道の稚内市から九州の鹿児島市まで、鉄道を指でなぞって旅をしてみよう。」「都市を二つ決めて、その間のきよりははかってみよう。」 ◇「九州地方」（P19～20）「▲記号の山がたくさんあるよ。おや、近くに♁記号が多いぞ。」「この島はどのあたりにあるのかな。さがしてみよう。16ページも見てね。」 ◇「中国地方」（P23～24）「中国地方には、世界遺産に登録されているところが3か所あるね。世界遺産のマークをさがしてみよう。71～72ページも見てみよう。」 「中国地方を東西に走る高速道路を指でたどって、どんな都市を通っているか、確かめてみよう。」 ◇「四国地方」（P26）「四国と本州を橋で結んでいるところが3か所あるね。どこにあるかさがしてみよう。」</p>

46 帝国

◇「地図帳の使い方」の中に、自主的に索引の使い方や縮尺を利用して実際の距離を調べる方法などを記載している。

◇各ページにあるキャラクターの吹き出しの中に、自主的に調べたり、考えたりすることを促す課題が入っている。

◇地図帳の使い方① (P7～8) 「記号に注目」(地図帳の記号) 「色に注目」(土地利用・土地の高さ) 「さくいんを使って場所をさがそう」

◇地図帳の使い方② (P9～10) 「縮尺に注目」(400万分の1・100万分の1・50万分の1) 「都道府県のように地図で調べよう」(一つか二つの情報にしぼって見ていく)

◇「日本の都道府県」(P2～3) 「自分の住む都道府県をさがそう」「地図のここに注目しよう」「都道府県をしようかいしよう」

◇「地図のなりたちとやくそくごと」(P5～6) 「地図のなりたちを考えよう」「地図のやくそくごとを知ろう」

◇「地図帳の使い方①」(P8) 「さくいんを使って場所をさがそう」「みんなの住んでいるところもさがしてみよう」「チャレンジ 地図中の□のなかからぶどうの絵記号をさがそう。(後略)」

◇「地図帳の使い方②」(P9～10) 「「都道府県のように地図で調べよう」「大阪市からアツミさんの住んでいる新潟市に行くルートを見つけよう。」「チャレンジ 大阪市から新潟市までの距離(後略)」「チャレンジ 新潟市から佐渡市までの距離(後略)」

◇「日本列島」(P16～18) 「福岡から大阪までのきよりを「かんたんものさし」ではかってみよう。」「東北新幹線は東京から青森までいくつの県を通過していくか、指でたどってみよう。」

◇「四国地方」(P25) 「ハウス栽培がさかんな高知平野では、どのような作物がつけられているか調べてみよう。」

◇中部地方(P31) 「3000m以上の山をさがして印をつけよう。」

◇「東北地方」(P45) 「津軽平野ではどんな果物がつけられているのかな。」「海岸がギザギザになっているね。この海ではどんなものがとれるのかな。」

◇「北海道地方」(P48) 「広い十勝平野では、どんなものが作られているのかな。」

教科・種目名 社会（地図）の調査研究事項

調査項目	2 東書
<p>作業的・体験的な学習活動例、書き込みページ等</p>	<p>◇「近畿地方」(P28) 「琵琶湖は日本一広い湖だよ。73ページで面積を確かめてみよう。」</p> <p>◇「中部地方」(B37) 「中部地方には高い山が多いね。3000m以上の山はどのあたりにあるかな。」</p> <p>◇「福井県、石川県、富山県」(P35) 「地図に名産品がたくさんのもっているね。みんなの町の名産品は何があるの？」</p> <p>◇「関東地方」(P40) 「利根川を河口から上流までたどってみよう。また、利根川の支流もたどってみよう。」</p> <p>◇「世界地図と地球儀」(P51～52) 「地球儀を使って調べる」「地球儀をまわしてみよう」「方位を調べよう」「きよりを調べよう」「大きさ、形を調べよう」</p> <p>◇「ユーラシア、北極」(P53～54) 「北極海を囲んでいる国はどこかな。」</p> <p>◇「アジア」(P55) 「世界でいちばん高いところといちばん深いところをさがしてみよう。」</p> <p>◇「ヨーロッパ」(P58) 「ヨーロッパには、歴史的な建物がたくさん残っているよ。」「イタリアのローマと同じくらいの緯度にある日本の都市はどこかな。」</p> <p>◇「オセアニア」(P61) 「オーストラリアでのクリスマスはどんな服そうをしているのかな。」</p> <p>◇「日本の自然－気候－」(P63～64) 「雪の多いところはどのあたりかな。」「雨の多いところはどのあたりかな。」「あなたが住んでいる所の気温や降水量を調べて、グラフをかいてみよう。左のどのグラフに近くなるかな。」</p> <p>◇「日本の食料生産－水産業、農業－」(P66) 「りんごやみかんはどんなところでつくられているのかな。」</p> <p>◇「日本の工業生産－電力、工業－」(P67) 「火力発電所や水力発電所はどのようなところにあるかな。」</p> <p>◇「日本の歴史と文化－世界文化遺産－」(P72) 「みんなの住んでいる所はむかしは何という国だったのかな。」</p> <p>◇「日本と世界の自然」(P74) 「63～64ページを参考にして、グラフをつくってみよう。」</p> <p>◇「世界のおもな国の統計」(P78) 「南を上にしてえがかれているよ。51～52ページの地図とくらべてみよう。」</p> <p>◇「さくいん」(P88) 「マイ・インデックス 行ったことのある所や行ってみたい所を記入して、自分だけのさくいんを作ってみよう。」</p> <p>◇「日本の自然災害」(P91) 「災害に備えて、何を準備しておくか、災害が起きたときにどのように行動したらよいか、確認しておこう。」</p>
<p>問題解決的な学習の設定数</p>	<p>◇43箇所</p>

46 帝国

- ◇「私たちの地球」(P51~52)「あいうは何という大陸だろう。地球儀で調べてみよう。」「陸地と海ではどちらが広いかな。地球儀を使って確認してみよう。」「東京とイギリスのロンドンとの間の距離を調べてみよう。」「日本の真東にある国の名前を調べてみよう。」
- ◇「アジア・オセアニア」(P54)「アジアにある世界一高いエベレスト山は、富士山のおよそ何倍くらいかな？」
- ◇「アジア」(P55)「日本はどのような国々と、どのようなことで結びついているか調べてみましょう。」
- ◇「アフリカ」(P58)「アフリカ大陸の面積は日本の面積の何倍くらいかな。」
- ◇「ヨーロッパ」(P60)「ヨーロッパには、歴史的に日本とつながりのある国があります。69~70ページも参考にして、どのようなつながりなのか調べてみましょう。」「ヨーロッパにはどのような世界遺産があるか調べてみましょう。」
- ◇「アメリカ合衆国」(P63)「ノース、サウス、ニューのつく州名をさがしてみよう。それぞれ、どんな意味があるでしょう。」「日本はアメリカ合衆国から何を輸入しているか、71ページ、75ページも参考にして調べてみましょう。」
- ◇「日本の自然のようす」(P65~66)「おもな山地、山脈をマーカーでぬってみよう。」「北海道と沖縄県の気温の差は、夏と冬のどちらが大きいだろうか。夏は図③、冬は図④から読み取ろう。」「⑦図のなかで、冬に降水量が多いのはどこだろう。また、その理由を⑥図を見て考えよう。」
- ◇「日本の産業のようす」(P67~68)「P73も参考にして、主に暖かい地方でとれる作物をさがしてみよう。」「水揚量の多い漁港は何県にあるか調べてみよう。」「IC工場をマークしてみよう。自動車工場のある場所との違いを考えてみよう。」「自分の住んでいる地域はどのような発電所があるかな？」
- ◇「日本の歴史」(P69~70)「平城京ってどこにあるのかな？地図や④図でさがしてみよう。」「③図と④図を見比べて今の都道府県の昔の名前を調べてみよう。」
- ◇「地震・火山の災害と防災」(P82~83)「わあ！海にはすごく深い谷があるんだね。ここが地震の原因になるってどうして？」「防災マップづくり」「防災マップを見て考えてみよう。」「次のようなときに大地震が起こった場合、どこへ逃げるか考えてみよう。」
- ◇「世界の国々」(P84~86)「日本が昼の12時のとき、世界のほかの国は何時だろう。」「こんにちをいろいろな国のことばでいうとどうなるのかな。」「世界の国名と場所をおぼえよう」

◇46箇所

教科・種目名 社会（地図）の調査研究事項

別表 5

調査項目	2 東書
発展的な学習内容や今日的な課題の取り扱い (第3学年及び第4学年)	発展的な学習内容 ◇「京都市中心部」(P31) ◇「日本の歴史と文化-世界文化遺産-」(P71) ◇「日本と世界の自然」(P73～74) ◇「日本の貿易」(P69～70)
発展的な学習内容や今日的な課題の取り扱い (第5学年)	発展的な学習内容 ◇「日本の自然災害」(P89～91) ◇災害に備える国や地域の取組(P91) 今日的な課題 ◇「日本とそのまわり」(P13)
発展的な学習内容や今日的な課題の取り扱い (第6学年)	発展的な学習内容 ◇「京都市中心部」(P31) ◇「奈良市中心部、斑鳩町付近」(P32) 今日的な課題 ◇「日本とそのまわり」(P13)
中学校との連携への配慮	◇中学校の世界地理への連携として、「日本と世界の自然」(P73～74)で、日本と世界のおもな山の高さ、川の長さ、湖の広さ、島の広さを写真などで紹介し、比較できるようにしている。また、「世界のおもな国の統計」(P78)で、陸地の面積、海洋の面積を比較できるようにしている。

46 帝国

発展的な学習内容

- ◇「京都盆地」(P29)
- ◇「日本の歴史」(P69～70)
- ◇「日本と世界の結びつき」(P71～72)

発展的な学習内容

- ◇「神戸市付近のようすー災害へのそなえー」(P27)
- 「洪水へのそなえ」(P34) 「東京スカイツリータウンのおもな防災設備」(P40) 「台地の洪水へのそなえ」(P41) 「地震・火山の災害と防災」(P82)

今日的な課題

- ◇「日本の範囲はどこまでだろうか？」(P11)
- ◇「尖閣諸島(沖縄県)日本固有の領土で手前が魚釣島、右奥が南小島です。」(P13)
- ◇「竹島(島根県)日本固有の領土ですが、韓国が不法に占拠しています。」(P17)

発展的な課題

- ◇「京都盆地」「奈良盆地」(P29)

今日的な課題

- ◇「日本の範囲はどこまでだろうか？」(P11)
- ◇「尖閣諸島(沖縄県)日本固有の領土で手前が魚釣島、右奥が南小島です。」(P13)
- ◇「竹島(島根県)日本固有の領土ですが、韓国が不法に占拠しています。」(P17)

- ◇中学校の世界地理への連携として、「自然の統計」(P72)で、日本と世界のおもな山の高さ、川の長さ、湖の広さと深さ、陸地の面積、海洋の面積を比較できるようにしている。

教科・種目名 社会（地図）の調査研究事項

別表 6

調査項目	2 東書
他教科の学習との関連	◇理科「日本の自然－気候－」（P63～64）「日本の自然災害」（P89～91）
総合的な学習（環境・国際理解・福祉・キャリア教育等）との関連	◇環境「日本の自然－気候－」（P63～64）「日本と世界の自然」（P73～74）「日本の自然災害」（P89～91） ◇国際理解「首都東京」おもな大使館（P43～45）世界地図のページ（P53～62）「日本の貿易」（P69～70）「世界のおもな国の統計」（P77～78）「世界の国々」（P92～94）
道徳教育との関連（自然への親しみ、郷土の文化や生活への親しみなど）	◇自然への親しみ「ながめてみよう日本のすがた」（P1～3）「日本の自然－地形－」（P4～6） ◇郷土の文化や生活への親しみ「京都市中心部」「奈良市中心部」「斑鳩町付近」（P31～32）「日本の歴史と文化」（P71～72）「日本の都道府県の統計」国宝・重要文化財の数、おもな伝統工芸品（P76）
人権教育との関連	◇人権教育「北海道地方」（P50）「アイヌ語地名」

46 帝国

◇理科「日本の自然のようす 気候」(P66)「地震・火山の災害と防災」(P82)

◇環境「環境のまち北九州市」(P21)「東京湾の埋立と残された自然」(P38)「釧路湿原のなりたち」(P48)「日本の自然のようす」(P65～66)「自然の統計」(P72)「地震・火山の災害」(P82)

◇国際理解「東京都の中心部」おもな大使館(P39)世界地図のページ(P53～64)「日本と世界の結びつき」(P71)「世界の国別統計」(P75)「世界の国々」(P84～86)

◇自然への親しみ「宇宙からながめた日本列島」(P4)「日本の自然のようす」(P65)

◇郷土の文化や生活への親しみ「京都盆地」(P29)「白川郷の合掌づくりの家々」(写真)(P31)「三内丸山遺跡」(写真)(P44)「歴史の舞台になった場所」(P70)「日本のすがた」ふるさと自慢、おもな伝統工芸品と生産都市(P74)

◇無

教科・種目名 社会（地図）の調査研究事項

別表 7

調査項目	2 東書
ユニバーサルデザイン化に向けた取組例	◇カラーユニバーサルデザインの観点から全ページにわたり配色およびデザインに配慮している。
一般図の地名や資料における文字の書体、大きさ等、児童の発達への配慮	◇文字の書体は種類別にいくつか使われている。さらに太文字や囲い文字を使ったり、色分けをしたり、大きさを変えたりすることで、見分けやすくしている。小さな文字もあるが、はっきりと読めるようにしている。
児童にとって親しみやすい、表記・表現、文章量の配慮	◇漢字にふりがなを付けている。 ◇地図の各ページにキャラクターのイラストがあり、そのイラストから吹き出しが出て、地図学習における課題や気づきへのヒント、地図学習の知識を記載している。 ◇各地方の地図では、各地の特産物をイラストで紹介している。 ◇地域の一部の拡大図では、各地域の特色をイラストで紹介している。 ◇「日本の47都道府県」で都道府県の位置や都道府県名、形に関する問題を掲載している。
児童の発達の段階に応じた図表、挿絵、写真等の資料の配慮と学習効果を高める工夫	◇「日本の自然-地形-」に、「地形の様子（もしき図）」を記載し、山脈や高原、平野などの意味を絵とコメントで説明している。 ◇地図上に「新幹線みずほ号」や「東京スカイツリー」などの今日的な話題の写真を掲載している。 ◇北海道地方の地図ではアイヌ語地名と現在の地名の関係が記されたミニコラムを記載している。 ◇日本の食料生産・工業生産のページでは、「焼津港のまぐろの水あげ」「ひびき太陽光発電所」などの写真や絵を掲載している。
効果的な目次、索引の提示方法	◇もくじ（P8）が日本・広域図、日本・地方図、日本・拡大図、世界地図、資料・統計のそれぞれのマークで分類されている。また、同ページに都道府県の区分を記載している。 ◇さくいん（P79～88）で、チェック欄、地名の種類をあらわす記号、地名の種類をあらわす色、都道府県名、ページ、列（経線）の記号、行（緯線）の記号を記載している。 ◇索引の最初に、索引の見方が示されている。 ◇索引が日本の部と世界の部に分かれている。 ◇世界遺産などに特別なマークがついている。 ◇世界の首都に特別なマークがついている。 ◇「マイ・インデックス」がついている。
児童の使用に配慮した印刷・製本方法、（加工、製本方法、紙、色遣い、装丁等）	◇再生紙・植物油インキを使用している。 ◇本の寸法はA4判（210×297）である。

46 帝国

◇カラーユニバーサルデザインの観点から全ページにわたり配色およびデザインに配慮している。

◇文字の書体は種類別にいくつか使われている。さらに太文字や囲い文字を使ったり、色分けをしたり、大きさを変えたりすることで、見分けやすくしている。小さな文字もあるが、はっきりと読めるようにしている。

◇すべての漢字にふりがなを付けている。
◇地図の各ページにキャラクターのイラストがあり、そのイラストから吹き出しが出て、地図学習における課題や気づきへのヒント、地図学習の知識を記載している。
◇各地方の地図では、各地の特産物をイラストで紹介している。
◇地域の一部の拡大図では、各地域の特色をイラストで紹介している。
◇「日本の47都道府県」で都道府県の位置や都道府県名、形に関する問題を記載している。

◇地図上に「神戸付近のようす～災害へのそなへ～」や「東京スカイツリータウンの主な防災設備」など、防災に関する図表や写真が多く掲載されている。
◇日本の産業のようすのページでは、「りんごの収穫（津軽平野）」「風力発電所（茨城県）」などの写真や絵を掲載している。

◇もくじ（P1）では、日本のページ・世界のページ・資料のページ・さくいんのページが色分けをして記されている。また、同ページに都道府県の区分を記載している。
◇おもな地名のさくいん（P76～81）で、地名の種類をあらわす記号、地名の種類をあらわす色、都道府県名、ページ、列（経線）の記号、行（緯線）の記号を記載している。
◇索引の最初に、索引の見方が示されている。
◇索引が日本の部と世界の部に分かれている。
◇世界文化遺産などに特別なマークがついている。

◇再生紙・植物油インキを使用している。
◇本の寸法はA B判（210×257）である。

MEMO
